

1. 釣合い鉄筋量の算出機能に対応
2. 材料基準値データの保存・読み込み機能を追加
3. コンクリートが負担できるせん断力に軸方向力による効果を考慮する設定機能を拡張
4. 64bitネイティブ対応

適用基準及び参考文献

1. 道路橋示方書・同解説Ⅰ共通編 H29年7月 日本道路協会
2. 道路橋示方書・同解説Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編 H29年7月 日本道路協会
3. 道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編 H29年7月 日本道路協会
4. 道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編 H29年7月 日本道路協会
5. 2017年制定 コンクリート標準示方書【設計編】 H30年3月 土木学会

旧基準

平成24年道路橋示方書に準拠し、許容応力度法による照査を行います。

【許容応力度法】

- 矩形からブロック(各パターン):左右対称断面に水平軸回りの曲げモーメント、軸方向力が作用する場合に利用可能

断面形パターン	応力度	必要鉄筋量	抵抗モーメント	同N-M図	終局モーメント	最小鉄筋量	降伏モーメント	塑性ヒンジ長Lp
矩形	○	○	○	○	○	○	○	○
円形	○	○	○	○	○	○	○	○
小判横	○	○	○	○	○	○	○	○
小判縦	○	○	○	○	○	○	○	○
I桁	○	○	○	○	○	○	○	—
T桁	○	○	○	○	○	○	○	—
ダブルT桁	○	○	○	○	○	○	○	—
箱桁	○	○	○	○	○	○	○	—
円孔ホロー	○	○	○	○	○	○	○	—
ブロック	○	○	○	○	○	○	○	—
任意二軸	○	—	—	—	—	—	—	—
小判二軸	○	—	—	—	—	—	—	—
矩形二軸	○	—	—	—	○	—	—	—

【UC-1自動設計】(詳細:P30)

- WebAPとしてマルチプラットフォームでの利用が可能

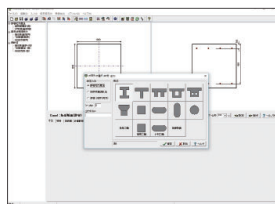
【UC-1 for SaaS RC断面計算】(詳細:P134)

- ソフトウェアをネットワーク経由のサービスとして提供

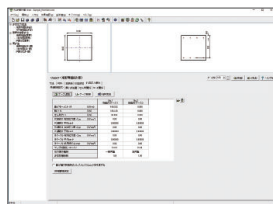
適用基準及び参考文献

1. コンクリート標準示方書 設計編 H8年制定、2007年制定、2012年制定 土木学会
2. コンクリート標準示方書 構造性能照査編 2002年制定 土木学会
3. 道路橋示方書・同解説Ⅰ共通編/Ⅲコンクリート橋/Ⅳ下部構造編/Ⅴ耐震設計編 日本道路協会
4. 標準設計 建設省
5. 鉄道構造物等設計標準・同解説-コンクリート構造物 SI単位版 鉄道総合技術研究所
6. 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針 コンクリートライブラリー 土木学会
7. 設計要領第二集 5章耐震補強 H9年11月 日本道路協会
8. 設計要領第二集 橋梁保全編 6章耐震設計 H18年4月 東・中・西日本高速道路
9. コンクリート部材の補修・補強に関する共同研究報告書(Ⅲ)
-炭素繊維シート接着工法による道路橋コンクリート部材の補修・補強に関する設計・施工指針(案)- H11年12月 建設省土木研究所

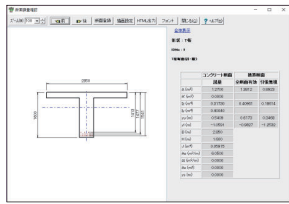
▼断面選択画面



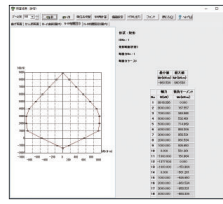
▼断面力入力画面(許容応力度法)



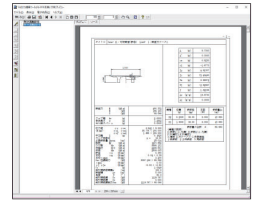
▼断面諸量確認



▼N-M関連図



▼印刷プレビュー



RC断面計算(中国基準版)

日本語/中国語

RC断面の曲げモーメント耐力、軸耐力、せん断耐力、配筋量計算プログラム

プログラム価格
(日本語版)
¥314,600
(税抜¥286,000)
(中国語版)
4,000元
Windows 8.1/10/11
電子納品

中国の建築基準・土木基準に準拠し、さまざまな断面形状を持つRC断面(鉄筋コンクリート断面)の曲げモーメント耐力、軸耐力、せん断耐力の計算と、配筋量の計算を行うプログラムです。

- 中国建築基準:コンクリート構造設計基準(GB50010-2002)
- 中国土木基準:道路鉄筋コンクリート及びPCコンクリート橋設計基準(JTGD62-2004)
- 日本版との相違:圧縮側でのコンクリートと圧縮鉄筋、引張側の引張鉄筋が降伏に達しているものとした計算手法を採用

▼対応断面形状



FRAME(面内) SDK

任意形平面骨組の面内解析プログラム
FRAME(面内)の計算機能をAPIとして提供

プログラム価格
¥190,300
(税抜¥173,000)
Windows 8.1/10/11 対応
電子納品

FRAME(面内)の画面にとらわれず、入力データをセットして計算を行い、計算結果を取得できます。プログラムの動作にはFRAME(面内)が必要です。

- 「FRAME(面内)」の計算機能のみをライブラリとして提供する開発キット
- 面内荷重解析などの機能を作成したプログラムに組み込み利用可能
- 計算条件の指定、計算結果の取り出しを独自に実装可能
- 独自のファイルフォーマットによるデータの入出力、計算書の出力が可能

▼添付サンプルプログラムのデータ

